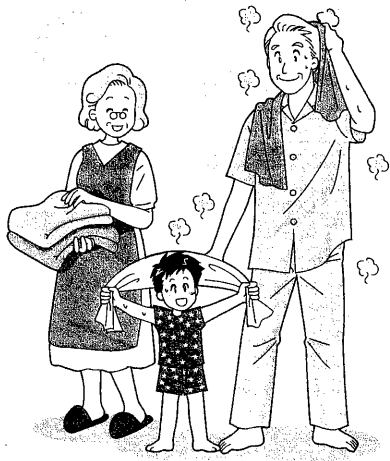
MITSUBISHI

三菱 電気 温水器 ダイヤホット

深夜電力型（8時間）

形名
SR-3056　（タンク容量:300L）
SR-3756　（タンク容量:370L）
SR-4656　（タンク容量:460L）
SR-5556　（タンク容量:550L）
SR-3756M　（タンク容量:370L）
SR-4656M　（タンク容量:460L）
M:集合住宅向け（ドレン用エルボセット付）

取扱説明書

●正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。
●保証書、据付工事説明書（チェックリストが入っています。）、据付工事確認書は必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。
●お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
●試運転は、据付工事店立ち合いのもとで行なってください。その際、安全を確保するための正しい使い方について、据付工事店から説明を受けてください。
●他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者となる方が安全な正しい使用方法を知るために、この取扱説明書と据付工事説明書などを次の所有者の方へ渡してください。

この取扱説明書は再生紙を使用しました。

もくじ

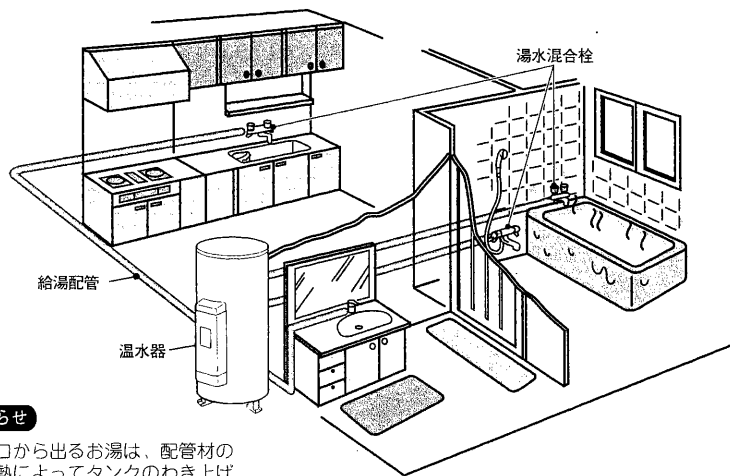
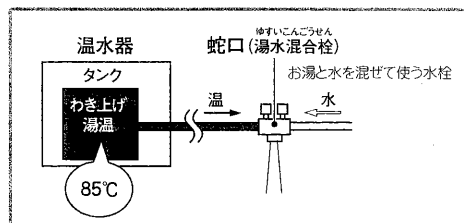
ページ

ご使用の前に

こんなとき

特長

温水器のしくみ

温水器でわき上げたお湯は、配管を通って家の中の蛇口（台所、洗面所、シャワーなど）にきます。水と混ぜて（湯水混合栓で混ぜる）お好みの温度で使用してください。

お知らせ

- 蛇口から出るお湯は、配管材の放熱によってタンクのわき上げ湯温より低くなることがあります。

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前にこの欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともにお使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。
  据付工事説明書も必ず据付工事店（販売店）から受け取ってください。

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

禁止	アース線接続
分解禁止	指示にしたがう
接触禁止	

（本体表示）

感電注意
高温注意
発火注意

⚠警告

やけどに注意

- 給湯時は湯水混合栓に手を触れない
- 排水時はお湯に手を触れない
- 逃し弁点検時は配管に手を触れない

入浴するときやシャワー使用時、台所や洗面所でお湯を使うときは、湯温を指先等で確認する

湯温を確認せずに浴槽につかったり、シャワーを浴びると、やけどをすることがあります。

近くにガス類や引火物を置かない

発火・火災になることがあります。

前面カバーを開けない （→6ページ）

開けると、感電することがあります。

アース工事を確認する

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。

アースの取付けは、据付工事店または「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口」へお問合せください。

改造をしない

（修理技術者以外の人は分解・修理をしない）

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

漏電遮断器の動作を確認する （→11ページ）

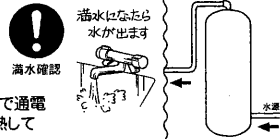
故障のまま使用すると、感電することがあります。

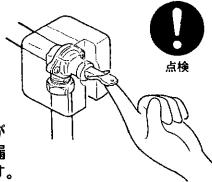
異常（こげ臭いなど）時は、漏電遮断器のレバー（→6ページ）を下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「三菱電機修理窓口・ご相談窓口」へ連絡する

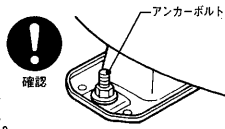
異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。

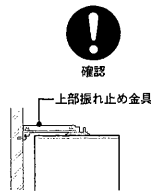
安全のために必ずお守りください（つづき）

⚠注意

通電はタンクを満水にしてから行う（→7ページ）

タンクに水がない状態で通電すると、ヒーターが過熱して故障の原因になります。

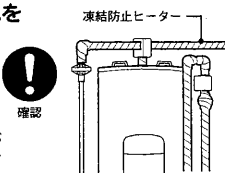
逃し弁の点検をする（→ 11ページ）

点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

脚（3カ所）がアンカーボルトで固定されているか確認する

固定されていないと、地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

2階以上に据付けた場合、上部振れ止め金具が壁に固定されているか確認する

固定されていないと、地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

凍結防止対策の確認をする（→9ページ）

凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

床面が防水・排水処理されているか据付工事店へ確認する

処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。

タンクの熱湯を直接排水しない（→8ページ）

やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。

1カ月以上使用しないときは、漏電遮断器のレバー（→6ページ）を下げて電源を「切」にし、タンクの排水をする

排水しないと水質が変化することがあります。

操作カバーは閉じる（→6ページ）

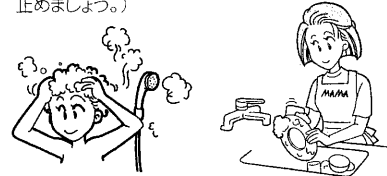
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

ご使用にあたってのお願い

使用にあたっては、以下のことをお守りください。

お湯を上手に使う

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

- シャワーは止めながら（髪を洗っているときは止めましょう。）
- 洗いものをするときも止めながら

流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

そのまま飲用しないでください

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水道水（水質基準に適合した水）を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに点検の依頼を行なってください。

夜間時間帯の入浴について

この温水器は、夜間時間帯（本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯しているとき）にお湯をわかしますので、この時間にはなるべく入浴しないようにしてください。夜間時間帯にお湯を使うと、翌日の湯温が低くなったり、お湯がたりなくなったりする場合があります。

夜間時間帯は、地域によって異なります。

万一の故障時には

本体や缶体保護弁排水口から水が排出された場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。

各部のなまえ

給湯口

タンク

形名・製造番号表示
製品の形名・製造番号が記載されています。

前面カバー

沸き上げ中ランプ
タンクわき上げ中に点灯します。

○ 沸き上げ中

漏電遮断器
機種により形状が異なります。

300L、370L用

電源レバー
電源を「入」・「切」します。使用中は常に「入」にしておきます。異常があったときは「切」にして据付工事店または「三菱電機　修理窓口」（→14ページ）にご連絡ください。

テストボタン
漏電遮断器が正しく動作するかを確かめるボタンです。（→11ページ）

460L用
電源レバー
テストボタン

550L用
電源レバー
テストボタン

操作カバー
操作カバーを開けるときは、つまみ（ねじ）を左に回します。閉じるときは右に回します。

つまみ（ねじ）

給排水口

脚

缶体保護弁排水口
温水器に異常な圧力が加わった場合、安全装置が作動してここから排水し、圧力を逃がします。

SR-3756M、SR-4656M形はドレンホースが付いています。

缶体保護弁排水ホース

ドレンホース

本体周辺部

準備

使い始めは、次の手順で操作します。

1.温水器のタンクを満水にする

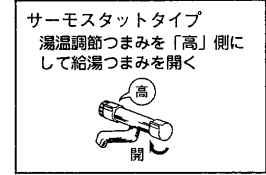
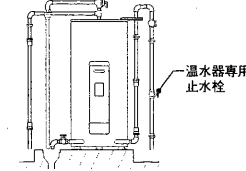
①タンク内の空気を抜くために、家の中の蛇口（湯水混合栓のお湯側）を開く（1カ所）
操作の方法は湯水混合栓のタイプによって異なります。

2バルブタイプ
お湯側（給湯つまみ）を開く

シングルレバータイプ
お湯側にレバーを回して上げる（下げる）

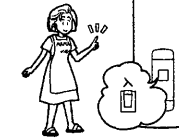
開

サーモスタットタイプ
湯温調節つまみを「高」側にして給湯つまみを開く

高
開

②温水器専用 止水栓を開いてタンクに水を入れる
タンクが満水になると蛇口から水がでます。満水までの目安は約30分です。
（配管や水源水圧によって多少異なります。）

③満水になったら、①で開いた蛇口を閉じる
（温水器専用止水栓は、閉じないでください。）

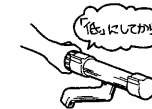
2.電源を入れる

①電源ブレーカーを「入」にする
（または分電盤の電源ブレーカーを「入」にする）

②漏電遮断器の電源レバーを「入」にする（→6ページ）

⚠注意
通電はタンクを満水にしてから行う

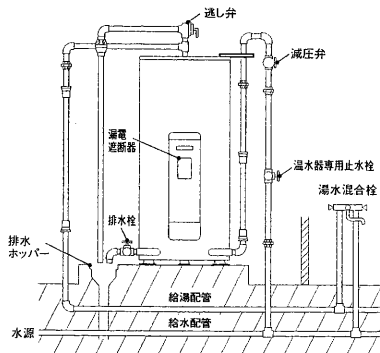
3.お湯を使う

お湯は翌朝から使用できます。

やけど防止のため、湯水混合栓の湯温調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。

⚠警告
使いはじめは、やけどに注意する
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

長期間 使用しないとき

1カ月以上、温水器を使用しないときは、運転を止めタンクの水を抜きます。

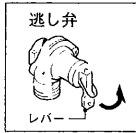
⚠注意
- 1カ月以上使用しないときは、タンクの水を抜く（水質変化の原因）
- タンクの熱湯を直接排水しない（やけど、排水管などの破損の原因）

1 **電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にする**
電気の供給を停止します。（あらかじめ前日に「切」にしておけば、ムダにお湯を捨てることがなくなります。）

2 **タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓（例えば台所など）を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す**

●お湯の温度を調節して60℃以下で排水してください。

3 **温水器専用止水栓を閉じる**
温水器（タンク）への給水を止めます。

4 **逃し弁のレバーを上げる〈図〉**
タンクへ空気を取り入れます。

5 **排水栓を開く**
タンクの水（お湯）を抜きます。
排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

⚠警告
排水時は、やけどに注意する

お願い ●排水が終ったら、排水栓を閉じてください。

再び使用するとき
逃し弁のレバーを下げ、排水栓が閉じていることを確認してから準備（→7ページ）の手順を行なってください。

凍結防止をする

冬季は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがありますので、凍結防止対策が必要です。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）

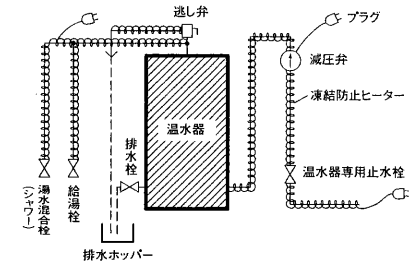
凍結防止対策として「凍結防止ヒーターによる方法」「少量の水を流し続ける方法」「水抜きによる方法」などがあります。どの方法で施工されたのか据付工事店へ確認してください。また、お客さまが行う具体的な操作方法についても確認し、凍結防止の操作を行なってください。

⚠注意
凍結防止対策の確認をする
凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

●配管が凍結した場合は、温水器専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。

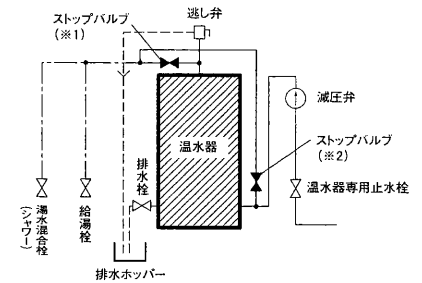
凍結防止ヒーターによる方法

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。

凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。

少量の水を流し続ける方法

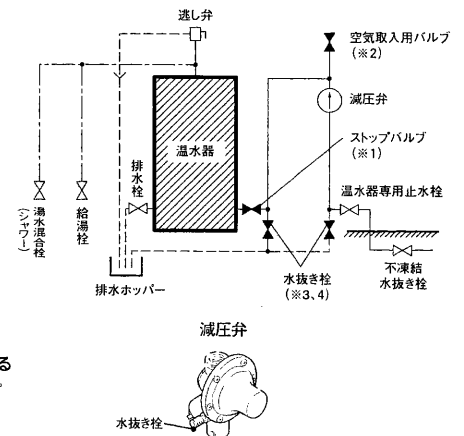
〈凍結防止の間、お湯は使用できません。〉

〈夜 お湯を使わなくなったら〉
①ストップバルブ（※1）を閉じ、ストップバルブ（※2）を開く
②各給湯栓、湯水混合栓を少し開けて、糸引き状態に水を流す

〈翌朝使用するとき〉
①各給湯栓、湯水混合栓を閉じる
②ストップバルブ（※2）を閉じ、ストップバルブ（※1）を開く

水抜きによる方法

〈凍結防止の間、お湯は使用できません。〉

〈夜 お湯を使わなくなったら〉
①温水器専用止水栓と不凍結水抜き栓を閉じる
②ストップバルブ（※1）を閉じ、空気取入用バルブ（※2）を開き水抜き栓（※3、4）を開く
③減圧弁の水抜き栓を開く〈図〉
（詳しくは減圧弁の説明書をご覧ください。）
④逃し弁のレバーを上げ、湯水混合栓、給湯栓を開く
⑤排水栓を開き、15～20L程度（約2分間）排水する
（排水が終わったら排水栓を閉じてください。）

〈翌朝使用するとき〉
①逃し弁のレバーを下げる
②減圧弁の水抜き栓を閉じる
③空気取入用バルブ（※2）と水抜き栓（※3、4）を閉じる
④不凍結水抜き栓、温水器専用止水栓とを開きストップバルブ（※1）を開く
⑤湯水混合栓、給湯栓を閉じる

定期点検（有料）

電気温水器を少しでも長くお使いいただくために、**3～4年に1度定期点検（有料）を行なってください。**
定期点検については、据付工事店（販売店）または「三菱電機　ご相談窓口」（→15ページ）へご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

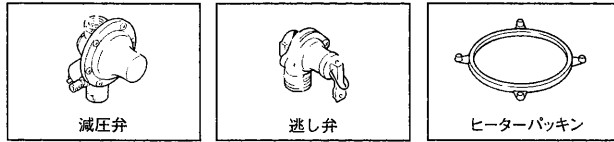
定期点検の主な内容

項　目	内　　容
据付け状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）などの点検および消耗部品の交換
清　　掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去など）

消耗部品

以下の部品は消耗部品です。

減圧弁

逃し弁

ヒーターパッキン

お願い ● 減圧弁、逃し弁、ヒーターパッキンの交換時は、当社純正部品をご指定ください。

日常点検とお手入れ

日常のお手入れ：本体のお手入れ

本体の表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

お願い ● ベンジンやシンナーなどの化学薬品やアルコールは、使用しないでください。変形や変色の原因になります。

1年に2～3回程度：漏電遮断器の動作点検

漏電遮断器の点検は、200V電源供給中に行なってください。
● 点検は夜間時間帯に点検を行なってください。

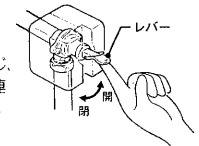
①テストボタンを押す
電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。「切」にならない場合は、据付工事店にご連絡ください。

②必ず電源レバーを「入」に戻す

⚠警告
漏電遮断器の動作を確認する（感電の原因）

1年に2～3回程度：逃し弁の点検（各部のなまえ：→6ページ）

動作点検と水漏れ点検を行います。

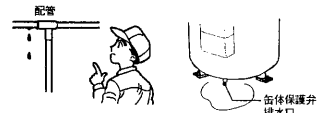
動作点検…　レバーを上げ、水（お湯）が排水ホッパーへ出ることを確認する
水（お湯）が出れば正常です。水（お湯）が出ない場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店にご連絡ください。また、レバーの動きが悪い場合は、早めに据付工事店ご連絡ください。
動作確認後は必ずレバーを下げてください。

水漏れ点検…　わき上げをしていないとき（本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯していないとき）、排水ホッパーから水（お湯）が出ていないかを確認する
水（お湯）が出ていなければ正常です。水（お湯）が出ている場合は、レバーを数回、上下に動かします。それでも、水が止まらない場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店にご連絡ください。

⚠警告
点検時は、配管に手を触れない（やけどの原因）

⚠注意
逃し弁の点検をする
タンクや配管が破裂して、やけどの原因になります。

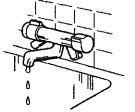
1年に2～3回程度：配管、缶体保護弁排水口からの漏水点検

配管の保温材破損や配管からの水漏れと、缶体保護弁排水口から水が排出されていないかを点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店にご連絡ください。特に冬季に入る前には、必ず保温材のチェックを行います。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

お願い ● 本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店へご連絡ください。

⚠注意
配管を点検する
マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

1年に2～3回程度：タンクのお手入れ

①排水栓を約1～2分間開く
タンクの下部にたまった汚れを排水します。
排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

②汚れがなくなったら排水栓を閉じる
汚れが多い場合は、数回繰り返します。

⚠警告
排水時はお湯に手を触れない（やけどの原因）

故障かな？

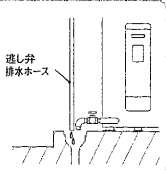
故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
お湯が出ない お湯の出が悪い	温水器専用止水栓が閉じている	閉じていれば開いてください。
	断水している（蛇口から水がでますか？）	断水が終るまで待ってください。
	凍結防止をしている	「水抜きによる方法」、「少量の水を流し続ける方法」で凍結防止をしている場合はお湯を使用できません。（→9ページ）
	配管が凍結している	凍結していた場合は、温水器専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。
お湯がわかない お湯が足りない	電源ブレーカーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。
	漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。2度、3度と「切」になる場合は、「切」のまま据付工事店（販売店）へご連絡ください。
	本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯していないときに、逃し弁の排水口から、お湯（水）が出ている	逃し弁の点検を行なってください。（→11ページ）逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、減圧弁の故障が考えられますので据付工事店（販売店）へご連絡ください。
	本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯しているときに、お湯をたくさん使用した（特に夜間時間帯）	翌日まで待ってください。
	いつもに比べてお湯をたくさん使用した	翌日まで待ってください。
缶体保護弁排水口から水が出ている	逃し弁または缶体保護弁の故障です。	温水器専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機　修理窓口」（→14ページ）へご相談ください。

こんなときは故障ではありません

逃し弁からお湯が出ている

本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯しているときは、水をお湯にわき上げているので、体積が増えた分を逃し弁から排水しています。

お湯が白く濁って見える

水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。

お湯から油がでる、お湯が臭い

初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

アフターサービス

■保証書（添付）

◎保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書、据付工事確認書なども保証書と一緒に保管してください。）

◎据付工事説明書（別添付）で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間…お買上げ日から2年間です。
ただし、タンクは5年間です。

■補修用性能部品の最低保有期間

◎この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後10年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

◎「故障かな？と思ったら」（→12ページ）にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店（販売店）にご連絡ください。

◎保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店（販売店）が修理させていただきます。

◎保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

◎修理料金は
技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。

◎ご連絡いただきたい内容

1．品名　：三菱 電気温水器
2．形名　：本体正面に表示してあります。
3．お買上げ日：年月日
4．故障の状況：できるだけ具体的に
5．お名前・ご住所（付近の目印なども）・電話番号・訪問希望日

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内
（家電品）

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店へ

転居や贈答品などでお買上げの販売店へご依頼できない場合は

修理窓口へ

ご相談窓口へ

修理窓口　電話受付：365日24時間

北海道地区

地区	電話番号	住所
札　幌	(011) 890-7520	札幌市厚別区大谷地東 2-1-18
旭　川	(0166) 26-5580	旭川市曙1条 8-1-4
北　見	(0157) 25-7045	北見市柏陽町 577-60
釧　路	(0154) 24-1355	釧路市喜多町 2-25
帯　広	(0155) 35-3111	帯広市西13条北 4-1-13
室　蘭	(0143) 45-5781	室蘭市東町 1-17-19
苫小牧	(0144) 55-1114	苫小牧市明野新町 2-1-18
小　樽	(0134) 33-3380	小樽市緑 2-28-22
函　館	(0138) 49-0345	函館市西桔梗町 589-57

東北地区

地区	電話番号	住所
青　森	(017) 773-8381	青森市大字野木字野尻 37-184
弘　前	(0172) 32-6535	弘前市大字青山 4-20-3
八　戸	(0178) 28-8544	八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8
む　つ	(0175) 22-3277	むつ市横迎町 2-11-7
盛　岡	(019) 637-7454	盛岡市羽場13地割 30-11
水　沢	(0197) 25-4511	水沢市卸町 2-3
釜　石	(0193) 23-4611	釜石市定内町 3-10-1
仙　台	(022) 238-1773	仙台市若林区大和町2-18-23
気仙沼	(0226) 23-8485	気仙沼市田中前 2-9-2
石　巻	(0225) 95-9111	石巻市門脇字四番谷地 16-268
古　川	(0229) 24-3595	古川市米袋字大窪 25-1
秋　田	(018) 865-4471	秋田市八橋三和町 19-36
横　手	(0182) 32-1785	横手市卸町 3-2
大　館	(0186) 42-2781	大館市餅田 2-5-44
山　形	(023) 624-0018	山形市大野目 2-1-21
酒　田	(0234) 35-8230	酒田市上安町 1-11-11
鶴　岡	(0235) 24-6161	鶴岡市上畑町 5-4
米　沢	(0238) 37-5554	米沢市中田町 742-8
福　島	(024) 534-7123	福島市御山字田中 58
郡　山	(024) 959-6543	郡山市喜久田町卸 1-76-1
会　津	(0242) 27-4426	会津若松市天寧寺町 3-7
原　町	(0244) 24-2842	原町市桜井町 1-173
いわき	(0246) 26-1822	いわき市内郷御台境町鶴巻 75-8

K00B

首都圏地区

東京都・神奈川県・千葉県
茨城県・埼玉県・栃木県・群馬県

フロントセンター東京　電話 (03) 3424-1111
FAX (03) 3424-1115
東京都世田谷区池尻 3-10-3

甲信越地区

新　潟 (025) 274-9165　新潟市竹尾卸新町 752-9
長　岡 (0258) 23-3323　長岡市南陽 1-1118-1
上　越 (0255) 24-1160　上越市春日山町 3-6-3
長　野 (026) 221-3232　長野市稲葉 904
松　本 (0263) 27-2461　松本市芳川野溝 531
飯　田 (0265) 52-5396　飯田市上郷別府 3367-1
山　梨 (055) 222-2711　甲府市下飯田 1-4-11

東海・北陸地区

愛知県

フロントセンター名古屋　電話 (052) 721-0131
FAX (052) 721-7268
名古屋市東区矢田南5-1-14

沼　津 (0559) 22-7111　沼津市若葉町 20-1
静　岡 (054) 284-0821　静岡市中原 913
浜　松 (053) 463-8455　浜松市上西町 62-5
岐　阜 (058) 275-0909　岐阜市中鶉 3-24
中津川 (0573) 65-6646　中津川市駒場字町裏 526-2
高　山 (0577) 33-7410　高山市冬頭町 981-5
四日市 (0593) 47-0621　四日市市日永 5-7-16
松　阪 (0598) 29-7664　松阪市久保町字猿楽 682-7
富　山 (0766) 56-0121　射水郡小杉町青井谷 1-1-1
金　沢 (076) 252-8133　金沢市小坂町西 97
福　井 (0776) 22-6340　福井市問屋町 1-19

関西地区

大阪府・奈良県・和歌山県（田辺・新宮を除く）
兵庫県（阪神・淡路地区）・京都府（舞北を除く）

フロントセンター関西　電話 (06) 6454-3901
FAX (06) 6454-3900
大阪市北区大淀中 1-4-13

滋　賀 (077) 552-4058　栗太郡栗東町安養寺 2-4-25
舞　北 (0773) 23-5960　福知山市厚中町 61
姫　路 (0792) 94-3383　姫路市手柄 98
豊　岡 (0796) 24-6360　豊岡市中陰 376
田　辺 (0739) 23-1109　田辺市稲成町字西沖代79-7
新　宮 (0735) 22-2495　新宮市池田 3-1-31

中国・四国地区

広島県・山口県・島根県・鳥取県・岡山県
香川県・徳島県・高知県・愛媛県

中・四国CSセンター　電話 (082) 890-6365
FAX (082) 890-6367
広島市南区大洲 4-3-26

九州地区

福　岡 (092) 412-5333　福岡市博多区豊 1-9-13
北九州 (093) 653-1231　北九州市八幡東区昭和 2-5-25
久留米 (0942) 45-2661　久留米市東合川新町 7-20
佐　賀 (0952) 31-4189　佐賀市鍋島町大字八戸溝348-2
唐　津 (0955) 72-1337　唐津市東城内 6-50
長　崎 (095) 843-0622　長崎市大橋町 23-4
佐世保 (0956) 30-7740　佐世保市木原町 155-1
熊　本 (096) 380-0211　熊本市石原町 326-1
八　代 (0965) 33-5173　八代市緑町 13-1
大　分 (097) 558-8803　大分市向原西 1-8-1
宮　崎 (0985) 56-4900　宮崎市大字赤江字飛江田150-1
延　岡 (0982) 21-3540　延岡市惣領町 25-5
鹿児島 (099) 260-2421　鹿児島市卸本町 7-17
沖　縄 (098) 898-3333　宜野湾市大山 7-12-1

ご相談窓口

購入・買替えのご相談、取扱い方法のお問合わせは
三菱電機お客さま相談センター　365日 24時間
〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

全国どこからでも おかけいただけるフリーダイヤル
0120-139-365（通話料金無料）
いつも サンキュー　365日

通常電話番号（携帯電話・PHS対応）03-3414-9655

当社家電品についてのご意見やご要望は
地区お客さま相談室
（月～金曜日 9：00～17：00　祝祭日を除く）

北海道 (011) 893-1313　〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東 2-1-11
東　北 (022) 231-8282　〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町 2-2-33
首都圏 (03) 3414-9722　〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3
中　部 (052) 972-7222　〒461-0005 名古屋市東区東桜 1-4-3
北　陸 (076) 252-1356　〒920-0811 金沢市小坂町西 81
関　西 (06) 6451-3611　〒531-0076 大阪市北区大淀中 1-4-13
中　国 (082) 278-1322　〒733-0833 広島市西区商工センター 6-2-17
四　国 (087) 879-1190　〒761-1705 香川郡香川町大字川東下 717-1
九　州 (092) 571-2211　〒816-0088 福岡市博多区板付 4-6-35

※所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K00B

仕様

形名		SR-3056	SR-3756	SR-3756M	SR-4656	SR-4656M	SR-5556
適用電力制度		深夜電力型（8時間）					
機種区分		屋外・軒下兼用タイプ					
設置場所		屋外					
タンク容量		$0.30m^3$ (300L)	$0.37m^3$ (370L)		$0.46m^3$ (460L)		$0.55m^3$ (550L)
電源		単相200V					
定格		3.4kW	4.4kW		5.4kW		6.4kW
標準消費電力量※		約26kWh/日	約32kWh/日	約32kWh/日	約40kWh/日	約40kWh/日	約47kWh/日
外形寸法	高さ	1449mm	1673mm	1783mm	1715mm	1825mm	1996mm
	外径	φ660mm	φ660mm	φ660mm	φ720mm	φ720mm	φ720mm
	奥行き	731mm	731mm	731mm	791mm	791mm	791mm
製品質量	本体	約41kg	約46kg	約49kg	約53kg	約55kg	約59kg
	満水時	約351kg	約416kg	約419kg	約513kg	約515kg	約609kg
最高使用圧力		100kPa					
安全装置		漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁					

※標準消費電力量は、わき上げ温度85℃、給水温度15℃の条件でタンク内全量を1回わき上げたときの値です。

愛情点検

★長年ご使用の温水器の点検を!

●この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後10年です。

こんな症状はありませんか
- ●設置場所が濡れている。
- ●お湯が早くなくなる。
- ●時々漏電遮断器がはたらく。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止
故障や事故防止のため、電源ブレーカーを切り温水器専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理（有料）をご相談ください。

製品形名〈製造番号〉	据付工事店（販売店）の店名・住所・電話番号
SR-　　　　〈　　　　〉	
お買上げ日	
年　　月　　日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

三菱電機株式会社

群馬製作所　〒370-0492 群馬県新田郡尾島町岩松800
電話番号　0276-52-1111（代表）

T962Z170H02 <2000-12>